

平成29年度  
研究指導所属学生募集要項

経済学部



## 目次

募集要項	1
芦谷 政浩 教授 ・ 清水 崇 教授	3
中村 保 教授 ・ 春山 鉄源 教授	4
宮川 栄一 教授 ・ 小林 照義 准教授	5
鈴木 純 准教授 ・ 安井 大真 准教授	6
奥西 孝至 教授 ・ 重富 公生 教授	7
橋野 知子 教授 ・ 難波 明生 教授	8
羽森 茂之 教授 ・ 松林 洋一 教授	9
末石 直也 准教授 ・ 石川 雅紀 教授	10
竹内 憲司 教授 ・ 萩原 泰治 教授	11
中村 健太 准教授 ・ 衣笠 智子 教授	12
永合 位行 教授 ・ 柳川 隆 教授	13
水野 倫理 准教授 ・ 勇上 和史 准教授	14
豊谷 整克 教授 ・ 玉岡 雅之 教授	15
藤田 誠一 教授 ・ 石黒 馨 教授	16
胡 云芳 教授 ・ 中西 訓嗣 教授	17
梶谷 懐 教授 ・ 金京 拓司 教授	18
地主 敏樹 教授 ・ 吉井 昌彦 教授	19
大学院・学部共通授業科目の開講について	20
アドバンスト・プログラムについて	21
申請書、志望動機書、オフィスアワー参加証 見本	22

## ※参考：研究室の場所について

320=3階、232=2階、102=1階

第1学舎（本館）

第2学舎（法学部）

第3学舎

第4学舎

第5学舎（国際協力研究科）

第6学舎（アカデミア館）

第7学舎（フロンティア館）

兼松記念館

第2研究室

六甲台キャンパス建物配置図は学生便覧を参照してください。

## 1. 研究指導応募(仮登録)資格

研究指導応募資格は、2年生全員とそれ以前の学生で研究指導未登録者とする。

## 2. 研究指導所属(本登録)資格

研究指導に仮登録した者で、2年生後期までに次の履修要件を満たした者は研究指導に所属(本登録)することができる。

- 1) 基礎演習2単位
  - 2) 共通専門基礎科目(人文・社会系)、英語その他の外国語から16単位以上
  - 3) 共通専門基礎科目(数学系)、経済学、経済史、統計学、経済原論Ⅰ、経済原論Ⅱから10単位以上
- ただし、経済原論Ⅰ又は経済原論Ⅱを修得しておくこと。

従って、研究指導に仮登録されても、2年生後期までに上の履修要件を満たさない場合は、本登録できないことになる。

## 3. 募集定員

学生定員を開設される研究指導教員数で除した商とし、端数は切り上げる。

## 4. 募集方法

第1回目の応募締切後、定員を超えていない教員に申し込んだ学生については、所属を決定する。定員を超えた教員は選考を行い、所属を決定する。

第3回目までは第1回目と同様の方法で応募選考を行うが、第3回目からは定員に満たない教員でも、受け入れを拒否することができる。

※ゼミによっては、3回目の募集を行わないことがある。

第3回目までに所属が決定しない学生は、来年度に再度応募するか(この場合は卒業が1年延期)又は、研究指導に所属しないことを決定する。

## 5. 研究指導に所属しない場合

研究指導応募時、又は途中で研究指導に所属しなくなった学生は、専門科目からさら16単位を履修しなければならない。

## 6. 所属学生の除籍について

研究指導教員は、学生の勉学状況を見て研究指導履修1年目の9月末と3月末、及び2年目の終了時(卒業は半年延期)に研究指導所属から除籍することができる。

# 平成29年度 研究指導所属学生募集要項

## 1. 募集教員 34名

教授 (27名)	芦谷 政浩 衣笠 智子 竹内 憲司 中村 保 羽森 茂之 柳川 隆	石川 雅紀 金京 拓司 豊谷 整克 永合 位行 春山 鉄源 吉井 昌彦	石黒 馨 胡 云芳 玉岡 雅之 難波 明生 藤田 誠一	奥西 孝至 重富 公生 地主 敏樹 萩原 泰治 松林 洋一	梶谷 懐 清水 崇 中西 訓嗣 橋野 知子 宮川 栄一
准教授 (7名)	小林 照義 安井 大真	末石 直也 勇上 和史	鈴木 純	中村 健太	水野 倫理

## 2. 対象学生数 306名

## 3. 定員 9名程度(募集教員の希望により、定員を超えて採用する場合がある)

## 4. 教員別オフィス・アワー

①:10月3日(月)～11月24日(木)、②:12月14日(水)～20日(火)

## 5. 募集スケジュール

受付は教務係で行います。発表は、本館正面玄関で行います。

教員別ゼミ案内は、経済学部ホームページ(教務掲示板:H29年度研究指導募集ページ)に掲載します。

申請用紙等はすべて上記ページよりダウンロード・プリントしてください。

### 1回目:12月5日(月)9:00～12月6日(火)17:00

12月5日(月) 9:00～ 12月6日(火)17:00	1回目受付(教務係内のメールボックスに提出) ・申請書・志望動機書・(オフィスアワー参加証)をホッチキスで止めて提出
12月7日(水) 15:00	1回目応募者数発表 ・定員内に入っていればこの時点で仮登録決定 ※オフィスアワー参加証の提出を教員が要求しているにもかかわらず未提出の学生は、定員内であっても受け入れを拒否されることがある ・定員を超えた教員に応募した学生は選考(書類選考または面接) 面接の場合…集合時間と場所の発表 面接時間…12月8日(木)3・4限、9日(金)昼休み・5限、12日(月)3・4限
12月13日(火) 16:00(予定)	1回目の選考結果発表

### 2回目:12月20日(火)9:00～12月21日(水)17:00

12月20日(火)9:00～ 12月21日(水)17:00	2回目受付
12月22日(木) 15:00	2回目応募者数発表 ・定員内に入っていればこの時点で仮登録決定 ※オフィスアワー参加証の提出を教員が要求しているにもかかわらず未提出の学生は、定員内であっても受け入れを拒否されることがある ・定員を超えた教員に応募した学生は書類選考
12月26日(月) 16:00(予定)	2回目選考結果発表

### 3回目:12月26日(月)16:00～12月27日(火)17:00、1月4日(水)9:00～13:00

12月26日(月)16:00～ 1月4日(水)13:00	3回目受付 ※12月28日(水)は受付停止
1月 4日(水) 16:00	3回目応募者数発表 ・定員内に入っている教員は受け入れを拒否することができる ※ゼミによっては3回目の募集を行わないことがある
1月 5日(木) 16:00(予定)	3回目選考結果発表

## 研究指導における「履修科目の登録の上限に関する内規」上の取り扱いについて

- ・研究指導は2年間で8単位です。半期ごとに2単位を修得していることとなります。
- ・H23以降入学者は、研究指導以外の1年間の履修上限は46単位となります。

平成 29 年度研究指導募集 教員別ゼミ案内

<b>申請コード : 1</b>	<b>教員名 :</b> <small>あしや まさひろ</small> 芦谷 政浩 教授 (理論分析講座)	
<b>研究室 :</b> 第 3 学舎 426	<b>メールアドレス :</b> ashiya@econ.kobe-u.ac.jp	
<b>学生に対する希望・条件 :</b> 中級ミクロ経済学 (もしくは経済原論 I) と中級マクロ経済学 (もしくは経済原論 II) を、好成績で履修済みであることが望ましい。		
<b>研究指導の内容 :</b> ・ 3 回生 : 「年次経済財政報告」を輪読する。 ・ 4 回生 : 各自が選んだテーマに基づき、卒業論文を作成する。		
<b>オフィスアワー① (10~11 月、日時、場所、参加条件等)</b> ・ 10 月 3 日 (月) 12:30~13:00 研究室 ・ 10 月 7 日 (金) 12:30~13:00 研究室 ・ 10 月 14 日 (金) 15:30~16:00 研究室		
<b>募集時の参加証提出 :</b> 不要	<b>1 回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 書類選考	
<b>オフィスアワー② (12 月、日時、場所、参加条件等)</b> ・ 12 月 16 日 (金) 15:30~16:00 研究室		
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b> 不可	<b>授業休止期間 :</b> 無	

<b>申請コード : 2</b>	<b>教員名 :</b> <small>しみず たかし</small> 清水 崇 教授 (理論分析講座)	
<b>研究室 :</b> 第 2 研究室 206	<b>メールアドレス :</b> shimizu@econ.kobe-u.ac.jp	
<b>学生に対する希望・条件 :</b> ・ ゲーム理論を用いて、(経済に限らず) 自分の関心のある現象を分析したいという人を募集します。 ・ 積極的に発言できる人、ものを考えるのが好きな人を歓迎します。 ・ Q4 に開講される「ゲーム理論」を受講することが望ましいです。		
<b>研究指導の内容 :</b> ・ 3 回生の前期は、ゲーム理論の教科書を輪読します。 ・ 3 回生の後期は三商ゼミ・インゼミ (他大学のゼミとの交流) に向けてグループで研究を行います。 ・ 3 回生は卒業論文の作成を行います。		
<b>オフィスアワー① (10~11 月、日時、場所、参加条件等)</b> ・ 10 月 3 日 (月) 12:10~13:20 研究室 ・ 10 月 17 日 (月) 12:10~13:20 研究室 ・ 10 月 24 日 (月) 12:10~13:20 研究室 上記日程以外にも対応可能ですので、メールで問い合わせてください。		
<b>募集時の参加証提出 :</b> 要	<b>1 回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 面接	
<b>オフィスアワー② (12 月、日時、場所、参加条件等)</b> ・ 12 月 14 日 (水) 13:20~14:50 研究室 上記日程以外にも対応可能ですので、メールで問い合わせてください。		
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b> 不可	<b>授業休止期間 :</b> 無	

平成 29 年度研究指導募集 教員別ゼミ案内

<b>申請コード : 3</b>	<b>教員名 :</b> <small>なかむら たもつ</small> 中村 保 教授 (理論分析講座)	
<b>研究室 :</b> 兼松記念館 230	<b>メールアドレス :</b> nakamura@econ.kobe-u.ac.jp	
<b>学生に対する希望・条件 :</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (これまではともかく) ゼミに入ったらしっかり勉強しようと思っている人。</li> <li>・ 三商ゼミなど教室以外での活動の企画や運営に積極的に取り組んでみたい人。</li> <li>・ 現実の経済社会の問題に関心があり、それを(マクロ)経済学を使って考えてみたいと思っている人。</li> </ul>		
<b>研究指導の内容 :</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3 回生 : (1)前期はマクロ経済学の中級の教科書を選んでしっかりと勉強する。 (2)後期は三商ゼミでの発表に向けての勉強が中心になる。</li> <li>・ 4 回生 : 各自の卒業論文の中間報告と討論。</li> </ul>		
<b>オフィスアワー① (10~11 月、日時、場所、参加条件等)</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10 月 24 日 (月) 12 : 15~13 : 00      ・ 10 月 27 日 (木) 12 : 15~13 : 00      ・ 11 月 4 日 (金) 12 : 15~13 : 00</li> <li>・ 11 月 7 日 (月) 12 : 15~13 : 00      すべて研究室</li> </ul>		
<b>募集時の参加証提出 :</b> 要	<b>1 回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 書類選考	
<b>オフィスアワー② (12 月、日時、場所、参加条件等)</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12 月 16 日 (金) 12 : 15~13 : 00      ・ 12 月 19 日 (月) 12 : 15~13 : 00      すべて研究室</li> </ul>		
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b> 不可	<b>授業休止期間 :</b> 無	

<b>申請コード : 4</b>	<b>教員名 :</b> <small>はるやま てつげん</small> 春山 鉄源 教授 (理論分析講座)		<b>昨年度開講無し</b>
<b>研究室 :</b> 兼松記念館 326	<b>メールアドレス :</b> haruyama@econ.kobe-u.ac.jp		
<b>学生に対する希望・条件 :</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (条件 1) 経済学的な考え方と英語の両方が好きな学生 (又は、好きになる自信がある学生)</li> <li>・ (条件 2) ゼミで積極的に発言ができる学生</li> <li>・ (条件 3) 平成 28 年度のシラバス (研究指導) の「履修上の注意」をよく読み、理解すること</li> <li>・ (希望) 中級マクロ経済学 I・II と中級ミクロ経済学 I・II 全ての単位修得者</li> </ul>			
<b>研究指導の内容 :</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3 年生 : 年度末までに短いエッセイを書くことを目的として『経済成長』(D. N. ワイル : 邦訳) の輪読を行う。</li> <li>・ 4 年生 : 基本的に卒業論文作成の準備と執筆。      以上は大まかな計画です。</li> </ul> <p>英語力向上を目的として <i>The Instant Economist</i> (邦訳「スタンフォード大学で一番人気の経済学入門」) の内容に関して 1 人 5 分間の英語での報告 (複数回) をしてもらおう予定です。また、学生の希望により三商ゼミにも参加可能です。基本的には、参加者の希望を取り入れた participants-driven なゼミにしたいと思います。 (ゼミ Website) : <a href="http://www2.kobe-u.ac.jp/~haruyama/zemi.html">http://www2.kobe-u.ac.jp/~haruyama/zemi.html</a></p>			
<b>オフィスアワー① (10~11 月、日時、場所、参加条件等)</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10 月 31 日 (月) 12 : 15~13 : 15      ・ 11 月 7 日 (月) 17 : 00~18 : 00      ・ 11 月 15 日 (火) 12 : 15~13 : 15</li> <li>すべて研究室</li> </ul> <p>上記日程に参加できない学生は、メールでアポを取ってください。</p>			
<b>募集時の参加証提出 :</b> 要	<b>1 回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 書類選考		
<b>オフィスアワー② (12 月、日時、場所、参加条件等)</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12 月 19 日 (月) 12 : 15~13 : 15      ・ 12 月 20 日 (火) 12 : 15~13 : 15      すべて研究室</li> </ul> <p>上記日程に参加できない学生は、メールでアポを取ってください。</p>			
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b> 不可	<b>授業休止期間 :</b> 無		

平成 29 年度研究指導募集 教員別ゼミ案内

<b>申請コード : 5</b>	<b>教員名 :</b> <small>みやがわ えいいち</small> 宮川 栄一 教授 (理論分析講座)	
<b>研究室 :</b> 第3学舎 528	<b>メールアドレス :</b> miyagawa@econ.kobe-u.ac.jp	
<b>学生に対する希望・条件 :</b> ゲーム理論に基づいた数式モデルを作って、経済・社会現象を理論的に解明してみたいという人を募集します。経済原論1(中級ミクロ経済)に出てくる数式にアレルギーがなく、データ分析だけでは物足りず、アイデアや論理を考えることが嫌いではなく、何か面白い研究をやってみたいという人を希望します。先生やゼミ生と頻りに会話しながらゼミが進みますので、会話が嫌いという人は相談して下さい。		
<b>研究指導の内容 :</b> ・3年次前半は、ゲーム理論の入門書を読み、それを踏まえて数式モデルを作って発表して、みんなで議論しながら改善案を模索します。 ・3年次後半は、グループで協力してモデルを作って分析します。三商大に参加するとともに、外部で発表することも考えます。 ・ゼミの様子を確認してみたい方は、木曜3~4限の間にゼミの教室にお越し下さい。 ・過去の3年生が三商大用に選んだテーマの例を挙げると、「オンラインゲームの最適課金額」「給与形態を社員自身が選択できる制度」「マイナス票も投じることが出来る投票制度」「マクドナルドのメニュー戦略」「家電量販店等のポイント制度」などです。 ・過去の4年生が卒論に選んだテーマ(優秀卒論賞を受賞したもの)の例を挙げると、「商品の耐久性が企業の価格戦略に及ぼす影響」「民事訴訟における判決の選択肢の最適な連続性 — 「100対0の解決」と「柔軟な解決」のどちらが望ましいか—」「企業の最適人選行動—労働者の性質に注目したチームのゲーム分析—」「ポストイング入札を用いた移籍制度の考察—ファーストブライズオークションモデルでの理論分析—」「路上喫煙禁止条例の経済学的効果—ゲームモデルによる理論分析と最適戦略の実証的な導出—」などです。いくつかは全文PDFが学部サイトに掲載されていますので、参考にしてください。		
<b>オフィスアワー① (10~11月、日時、場所、参加条件等)</b> ・10月14日(金) 12:20~13:10 研究室      ・10月31日(月) 12:20~13:10 研究室 ・11月17日(木) 12:20~13:10 研究室      ・別の日時がよければメールでアポを取ってください。		
<b>募集時の参加証提出 :</b> 不要	<b>1回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 書類選考	
<b>オフィスアワー② (12月、日時、場所、参加条件等)</b> ・12月15日(木) 12:20~13:10 研究室      ・別の日時がよければメールでアポを取ってください。		
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b> 不可	<b>授業休止期間 :</b> 無	

<b>申請コード : 6</b>	<b>教員名 :</b> <small>こばやし てるよし</small> 小林 照義 准教授 (理論分析講座)	
<b>研究室 :</b> 第2学舎 403	<b>メールアドレス :</b> kobayashi@econ.kobe-u.ac.jp	
<b>学生に対する希望・条件 :</b> ・社会・経済の様々な現象に関心がある人      ・もっと勉強したい、研究してみたいという意欲のある人 ・金融政策 or ネットワーク科学に興味がある人(注:ネットワーク科学は、社会・経済現象を人・企業などのつながりの構造から理解しようとする新しい学問領域です)		
<b>研究指導の内容 :</b> ・3年次:共通の課題(過去はネットワーク科学・金融政策論など)を決めてテキストを輪読し、パワポでプレゼンします。 ・3年次後半から自分の卒論テーマを考えつつ調査をしていき、4年次には必要に応じて専門家にインタビューします。テーマは各自自由に設定するので、問題点を自分で見つけ、課題を考えていく必要があります。 ・進捗具合に応じて、随時プレゼントディスカッションを行っていきます。		
<b>オフィスアワー① (10~11月、日時、場所、参加条件等)</b> ・10月4日(火) 12:30~13:00 研究室		
<b>募集時の参加証提出 :</b> 要	<b>1回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 書類選考	
<b>オフィスアワー② (12月、日時、場所、参加条件等)</b> ・12月6日(火) 12:30~13:00 研究室		
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b> 不可	<b>授業休止期間 :</b> 無	



平成 29 年度研究指導募集 教員別ゼミ案内

<b>申請コード : 7</b>		<b>教員名 :</b> <sup>すずき</sup> 鈴木 <sup>じゅん</sup> 純 准教授 (理論分析講座)	
<b>研究室 :</b> 第 5 学舎 603		<b>メールアドレス :</b> suzuki.j@econ.kobe-u.ac.jp	
<b>学生に対する希望・条件 :</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会の変化に関心がある人。自分の考えを人に伝え、論じ合うことに積極的な人。ゼミ活動 (研究も、研究以外も) の企画や運営に積極的に取り組む意欲のある人の応募を期待しています。</li> <li>・ 自分たちが見つけた問題について、ともに考えていく場にしたいと思っています。</li> </ul>			
<b>研究指導の内容 :</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3 回生 : [少子高齢化, 非営利経済, 福祉国家, 社会保障, ミクロ経済学, 経済政策論] の範囲内からいくつかのトピックを選び、個人・グループで、報告・討論を行います。報告準備の進め方、プレゼンテーションの方法についても学びます。また、三商大ゼミなどに向けて共同研究を行います。</li> <li>・ 4 回生 : 各自が選択したテーマについて研究を進め、全体での討論を通じて、卒業論文を作成します。完成後に卒論報告会を開きます。</li> </ul>			
<b>オフィスアワー① (10~11 月、日時、場所、参加条件等)</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10 月 31 日 (月) 16:50~17:30 第 3 学舎 229</li> <li>・ 11 月 14 日 (月) 12:30~13:20 第 3 学舎 229 *昼食持込可。同じ部屋で、3 限のゼミを見学できます。</li> <li>・ 11 月 24 日 (木) 12:20~13:20 研究室</li> </ul> <p>いずれの日時にも都合がつかない場合には、メールで面会の約束をとってください。</p>			
<b>募集時の参加証提出 :</b> 要		<b>1 回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 面接	
<b>オフィスアワー② (12 月、日時、場所、参加条件等)</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12 月 12 日 (月) 12:40~13:20 第 3 学舎 229</li> </ul>			
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b> 可		<b>授業休止期間 :</b> 無	

<b>申請コード : 8</b>		<b>教員名 :</b> <sup>やすい</sup> 安井 <sup>だいしん</sup> 大真 准教授 (理論分析講座)	
<b>研究室 :</b> 第 3 学舎 420		<b>メールアドレス :</b> yasui@econ.kobe-u.ac.jp	
<b>学生に対する希望・条件 :</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済理論に基づいて、世の中で起きていること (特にマクロ的な現象) を考えてみたい人を募集します。</li> <li>・ しっかりと勉強したいと思っている人、積極的にゼミに参加しようと思っている人を希望します。</li> <li>・ 中級ミクロ経済学と中級マクロ経済学を履修済みであることが望ましいです。</li> </ul>			
<b>研究指導の内容 :</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ミクロ経済学的なアプローチに基づいたマクロ経済学を勉強します。</li> <li>・ 1 年目は、テキストを読んで、基礎を身に付けます。</li> <li>・ 2 年目は、卒業論文に取り組みます。</li> </ul>			
<b>オフィスアワー① (10~11 月、日時、場所、参加条件等)</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10 月 19 日 (水) 10:30~12:00 研究室</li> <li>・ 11 月 16 日 (水) 10:30~12:00 研究室</li> </ul> <p>上記日程に参加できない学生は、メールでの問い合わせに対応します。</p>			
<b>募集時の参加証提出 :</b> 不要		<b>1 回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 面接	
<b>オフィスアワー② (12 月、日時、場所、参加条件等)</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12 月 21 日 (水) 10:30~12:00 研究室</li> </ul> <p>上記日程に参加できない学生は、メールでの問い合わせに対応します。</p>			
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b> 可		<b>授業休止期間 :</b> 無	

平成 29 年度研究指導募集 教員別ゼミ案内

<b>申請コード : 9</b>	<b>教員名 :</b> <small>おくにし たかし</small> <b>奥西 孝至 教授 (歴史分析講座)</b>	
<b>研究室 :</b> 兼松記念館 218	<b>メールアドレス :</b> okunishi@econ.kobe-u.ac.jp	
<b>学生に対する希望・条件 :</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このゼミではグループワークでなくゼミ生一人一人の関心に応じた指導を行うので、色々なことに関心があり、なぜ、そのような現象が生じたかを考えてみたいという学生を希望します。</li> <li>・特にヨーロッパなど外国の社会、経済、文化に関心がある人を歓迎します。</li> </ul>		
<b>研究指導の内容 :</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な事象を歴史的にかつ相対化・比較の視点をもって考察する力をつけることを目標とします。</li> <li>・3 年生前期では、基本となる経済史の考え方、分析の仕方を学びつつ、卒業論文に取り上げたいテーマを絞り込んでいきます。</li> <li>・3 年生後期からは、全体での学習と平行して、選んだテーマの先行研究、分析するのに必要な手法について個別の指導を行います。ホームワークを中心に各自の状況に応じた学習が重要になるので、優先順位を付けて、いかに効率的に時間を使うかという勉強の仕方についても指導します。</li> </ul>		
<b>オフィスアワー① (10~11 月、日時、場所、参加条件等)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10 月 13 日 (木) 4・5 限                      ・10 月 17 日 (月) 4・5 限                      ・11 月 9 日 (水) 5 限</li> <li>・11 月 15 日 (火) 5 限                              ・11 月 21 日 (月) 5 限                              すべて研究室</li> </ul>		
<b>募集時の参加証提出 :</b> 要	<b>1 回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 書類選考	
<b>オフィスアワー② (12 月、日時、場所、参加条件等)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12 月 19 日 (月) 5 限      研究室</li> </ul>		
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b> 不可	<b>授業休止期間 :</b> 有 (H29 年 6 月 12 日~6 月 30 日)	

<b>申請コード : 10</b>	<b>教員名 :</b> <small>しげとみ きみお</small> <b>重富 公生 教授 (歴史分析講座)</b>	
<b>研究室 :</b> 兼松記念館 328	<b>メールアドレス :</b> shigetomi@econ.kobe-u.ac.jp	
<b>学生に対する希望・条件 :</b> 担当者の専攻は欧米経済史ですが、ゼミの勉強内容や卒論のテーマはある程度自由に選択していただいています。受け身の勉強ではなく、卒業までになにかひとつのテーマをじっくり研究したいが、まだ特定の対象にしばらくきれていないので、ゼミに入って考えていきたい、そんな学生の入ゼミを想定しています。		
<b>研究指導の内容 :</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3 年次前期は問題意識と基礎知識をある程度共有するために、経済発展や経済的「成功」や「挫折」等のプロセスについて、できるかぎり多くの側面から追求してゆく予定です。</li> <li>・後期は各自が選定した文献類を中心として報告し、それをもとに他のゼミ生と討論していただきます。</li> <li>・3 年末の三商大対抗ゼミには毎年積極的に参加しています。</li> <li>・4 年次は、各自の選んだテーマについて卒業論文の段階的報告と作成指導が軸となります。みなさんの一生の知的財産として残る「作品」を仕上げていきましょう。</li> </ul>		
<b>オフィスアワー① (10~11 月、日時、場所、参加条件等)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10 月 20 日 (木) 15 : 00~16 : 00      ・11 月 15 日 (火) 15 : 00~16 : 00      ・11 月 17 日 (木) 11 : 00~12 : 00</li> <li>すべて研究室</li> </ul>		
<b>募集時の参加証提出 :</b> 任意	<b>1 回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 書類選考	
<b>オフィスアワー② (12 月、日時、場所、参加条件等)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12 月 15 日 (木) 15 : 00~16 : 00</li> </ul>		
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b> 不可	<b>授業休止期間 :</b> 無	

平成 29 年度研究指導募集 教員別ゼミ案内

<b>申請コード : 11</b>	<b>教員名 :</b> <small>はしの ともこ</small> 橋野 知子 教授 (歴史分析講座)	
<b>研究室 :</b> 兼松記念館 320	<b>メールアドレス :</b> hashino@econ.kobe-u.ac.jp	
<b>学生に対する希望・条件 :</b> 経済史が好きな意欲ある学生を募集します。当時の人たちが残した史料を実際に読んで、その時代を感じてみたい人、自分が集めた資料やデータを分析して、オリジナリティのある卒論を書いてみたい人、そしてゼミに積極的に参加する人を募集します。工場、史料館・博物館にも皆で時折足を運び、また他大学のゼミとの学問的交流も図ってみたいと思います。例年、応募する場合は、オフィスアワーに必ず参加することを条件の一つとしていますが、本年は私がスタンフォード大学に滞在し不在のため、メールで私にコンタクトをとって質問するなり、オープンゼミ(現在は、経営学部の平野恭平准教授が私の代わりに演習指導をしてくださっています)に積極的に参加するなりして、情報の非対称性を克服するべく、自らの力で情報収集に努めてください。		
<b>研究指導の内容 :</b> 3-4 回生合同で進める 2 コマ続きの研究指導の内容は、大きく以下の二つです。 ・『米欧回覧実記』の輪読：ゼミでは、1871(明治 3)年に欧米に渡った「岩倉使節団」に随行した書記官・久米邦武が記した『米欧回覧実記』(1878 年)を輪読します。3 回生は 4 回生より指導を受けながら、輪読を開始します。岩倉使節団の 632 日に及ぶ旅は大変な過密スケジュールで、彼らは習慣の違いや長旅の疲れからふらふらになりながらも、日本国を代表するというプライドを持って、欧米のさまざまな地域の文物をきわめてストイックに鋭く観察してきました。帰国後に刊行された本書は予想外に売れ(合計 3500 冊)、本書は当時の日本人のインテリ層に欧米の文明を知らせる大きな手掛かりとなりました。久米の書いた拡張高い漢文調の日本語を深く味わうことは、使節団が何を見てどのように感じ、いかなる経済史的・経済学的インプリケーションをそこから得、そして当時の日本をどのように批判したのかという、深い洞察へと私たちをいざないます。2015 年度の 3 回ゼミで輪読を開始しましたが、最初にサンフランシスコに上陸した使節団一行は、現在シカゴを視察中です。一行がアメリカからヨーロッパ諸国へ渡り、帰国するまでをいつかゼミで読破したいと思っています。 ・各自の研究報告：3 回生のうちから卒論を見据えての指導(レポート・文章の書き方、資料調査の方法、効果的なディスカッションの方法)を進めます。4 回生は、卒論に関する報告が中心となります。		
<b>オフィスアワー①(10~11 月、日時、場所、参加条件等)</b> メールで対応します。応募したいと思っている人は、まず私にメールで自己紹介をし、応募したい旨を知らせ、ゼミに関する質問をしたうえで応募してください。		
<b>募集時の参加証提出 :</b> 不要	<b>1 回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 書類選考	
<b>オフィスアワー②(12 月、日時、場所、参加条件等)</b> メールで対応します。1 回目(上述)と同じようにしてください。		
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b> 可	<b>授業休止期間 :</b> 無	

<b>申請コード : 12</b>	<b>教員名 :</b> <small>なんば あきお</small> 難波 明生 教授 (計量・統計分析講座) 昨年度開講なし	
<b>研究室 :</b> 第 3 学舎 523	<b>メールアドレス :</b> namba@econ.kobe-u.ac.jp	
<b>学生に対する希望・条件 :</b> 統計学・計量経済学・コンピューターを用いたデータ(経済データに限りません)分析などに興味のある学生を歓迎します。		
<b>研究指導の内容 :</b> ・初年度は、データ分析に必要な統計学・計量経済学の基礎理論と、コンピュータースキル習得を目標とします。 ・翌年度は、初年度に習得したスキルを利用して、卒業論文の作成を行います。		
<b>オフィスアワー①(10~11 月、日時、場所、参加条件等)</b> 在外研究中のため、オフィスアワーは行いません。質問等はメールにて受け付けます。		
<b>募集時の参加証提出 :</b> 不要	<b>1 回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 書類選考	
<b>オフィスアワー②(12 月、日時、場所、参加条件等)</b> 在外研究中のため、オフィスアワーは行いません。質問等はメールにて受け付けます。		
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b> 不可	<b>授業休止期間 :</b> 無	

平成 29 年度研究指導募集 教員別ゼミ案内

<b>申請コード : 13</b>	<b>教員名 :</b> <sup>はもり</sup> 羽森 <sup>しげゆき</sup> 茂之 教授 (計量・統計分析講座)		
<b>研究室 :</b> 第 3 学舎 404	<b>メールアドレス :</b> hamori@econ.kobe-u.ac.jp		
<b>学生に対する希望・条件 :</b> ゼミでは、数多くの行事 (円ダービー、バーチャルFXコンテスト、日経ストックリーグ、工場見学等) を行いますので、それらの活動に積極的に参加してくれる学生を希望します。ゼミの先輩たちは、実業会 (メーカー、商社、金融機関等)、公認会計士、国家・地方公務員、大学院進学等、様々な分野で活躍してくれています。皆さんもぜひ頑張ってください!			
<b>研究指導の内容 :</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼミでは、人前で自分の意見を自分の言葉で表現できる「プレゼンテーション能力」と自分でデータの分析をできる「分析能力」を身につけてもらうことを基本的な目的としています。</li> <li>・「プレゼンテーション能力」を習得するために、ゼミの最初に、ディベートを行っています。</li> <li>・「分析能力」を習得するために、3年生の前半は「円ダービー」及び「バーチャルFXコンテスト」、後半は「日経ストックリーグ」に参加します。先輩たちはこれらの大会で活躍してくれていますので、新ゼミ生の皆さんにも期待しています。</li> <li>・3年生は、4名から5名のグループに分かれたグループ研究、4年生は卒業論文作成に向けた個人研究が中心となる活動となります。</li> <li>・海外の大学へ留学する学生が多いことも特徴の一つです。</li> <li>・ゼミ活動の具体的な内容は、私のホームページも参考にしてください。 (<a href="http://www2.kobe-u.ac.jp/~hamori/Jhamori/seminar(undergrad).html">http://www2.kobe-u.ac.jp/~hamori/Jhamori/seminar(undergrad).html</a>)</li> </ul>			
<b>オフィスアワー① (10~11月、日時、場所、参加条件等)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月28日(金) 12:30~13:00 研究室</li> <li>・11月7日(月) 13:10~13:40 ゼミ教室</li> <li>・11月14日(月) 13:10~13:40 ゼミ教室</li> </ul>			
<b>募集時の参加証提出 :</b> 要		<b>1回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 書類選考	
<b>オフィスアワー② (12月、日時、場所、参加条件等)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月19日(月) 13:15~13:45 ゼミ教室</li> </ul>			
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b> 不可		<b>授業休止期間 :</b> 無	

<b>申請コード : 14</b>	<b>教員名 :</b> <sup>まつばやし</sup> 松林 <sup>よういち</sup> 洋一 教授 (計量・統計分析講座)		
<b>研究室 :</b> 第 3 学舎 403	<b>メールアドレス :</b> myoichi@econ.kobe-u.ac.jp		
<b>学生に対する希望・条件 :</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計量分析を用いて、日本経済・世界経済に関する様々なトピックスを考察することに興味のある方</li> <li>・円ドルダービー、日銀グランプリ、ISFJなどの論文大会に興味がある方</li> <li>・将来、金融機関・政策当局・民間シンクタンクなどで情勢判断や調査分析を行いたいと考えておられる方</li> <li>・海外への留学を考えておられる方</li> <li>・勉強だけでなく、さまざまなレクリエーションを通じて和気あいあいと楽しめる方</li> </ul>			
<b>研究指導の内容 :</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1) ゼミのはじめの15分で、1週間のマーケットウォッチ (為替・株・金利など) を行います。</li> <li>・2) 計量経済学・マクロ経済学の基礎的知識の復習をします。</li> <li>・3) 計量ソフトを用いて、実証分析の様々な手法を、毎時間一つずつ学んでいきます。</li> <li>・4) 前期の終わりから、日銀グランプリ・ISFJ (日本政策学生会議) の準備をしていきます。</li> <li>・5) 神戸税関 (5月)、東京外為ブローカー・日本銀行本店 (12月) に見学とヒアリングに行きます。</li> </ul>			
<b>オフィスアワー① (10~11月、日時、場所、参加条件等)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月6日(木) 15:10~16:10</li> <li>・11月11日(金) 17:00~18:00</li> <li>・11月24日(木) 15:10~16:20</li> </ul> いずれも研究室(3回生ゼミ生によるゼミの詳細な紹介・ミニ講義を企画しています)			
<b>募集時の参加証提出 :</b> 要		<b>1回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 書類選考	
<b>オフィスアワー② (12月、日時、場所、参加条件等)</b> メールにて対応します。			
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b> 不可		<b>授業休止期間 :</b> 無	

平成 29 年度研究指導募集 教員別ゼミ案内

<b>申請コード : 15</b>	<b>教員名 :</b> <small>すえいし なおや</small> 末石 直也 准教授 (計量・統計分析講座)	
<b>研究室 :</b> 第 2 研究室 207	<b>メールアドレス :</b> sueishi@econ.kobe-u.ac.jp	
<b>学生に対する希望・条件 :</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・統計学と計量経済学の授業を履修済みであること</li> <li>・ある程度英語ができること (少なくとも読めること)</li> <li>・数学を用いることが苦でないこと</li> </ul>		
<b>研究指導の内容 :</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年次はミクロ計量経済学に関連するテキストや論文の輪読を行う予定です。</li> <li>・4年次は卒論執筆のための指導を行います。論文のテーマは、実証研究と計量経済学の理論研究のどちらでもかまいませんが、何らかの形で計量経済学の手法を論文中で用いることを求めます。</li> </ul>		
<b>オフィスアワー① (10~11 月、日時、場所、参加条件等)</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月13日(木) 16:00~17:00</li> <li>・10月17日(月) 16:00~17:00</li> </ul> いずれも研究室 上記時間帯以外で面談を希望する場合は、メールでアポをとること		
<b>募集時の参加証提出 :</b>	要	<b>1 回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 面接
<b>オフィスアワー② (12 月、日時、場所、参加条件等)</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月15日(木) 16:00~17:00</li> <li>・12月19日(月) 16:00~17:00</li> </ul> いずれも研究室 上記時間帯以外で面談を希望する場合は、メールでアポをとること		
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b>	可	<b>授業休止期間 :</b> 無

<b>申請コード : 16</b>	<b>教員名 :</b> <small>いしかわ まさのぶ</small> 石川 雅紀 教授 (技術・環境分析講座)	
<b>研究室 :</b> 第 6 学舎 406	<b>メールアドレス :</b> ishikawa@econ.kobe-u.ac.jp	
<b>学生に対する希望・条件 :</b>		
<p>石川ゼミでは、ゼミ生を中心とする NPO ごみじゃぱんの取り組みとして、「減装(へらそう)ショッピング」の活動を行っています。この活動は、社会全体での容器包装ごみの発生を抑制する事を目的としており、規制などの強制的な手段ではなく、自発的に協力するメーカー、小売、生活者、自治体、政府、大学が連携し、Win-Win の関係で進めている事が特徴です。この活動に参加する人を優先します。<a href="http://gomi-jp.jimdo.com/">http://gomi-jp.jimdo.com/</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題に挑戦したいひと。</li> <li>・誰もやったことがないというテーマ(演習問題ではないテーマ)に挑戦するという意味での研究をしたい人。</li> </ul>		
<b>研究指導の内容 :</b>		
社会実験の企画、運営、データの分析を先輩、研究者、社会人と共に行います。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・4年次は、社会実験での結果の分析の時期です。3年次では、この準備として、必要な勉強をします。</li> <li>・4年次では、社会実験のまとめと共に個別のテーマに取り組みます。</li> </ul>		
<b>オフィスアワー① (10~11 月、日時、場所、参加条件等)</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月12日 12:10~13:10</li> <li>・10月13日 12:10~13:10</li> <li>・11月9日 12:10~13:10</li> </ul> すべて第 1 学舎 332 参加条件無し 上記日程で参加できない人は、メールで個別に問い合わせてください。		
<b>募集時の参加証提出 :</b>	要	<b>1 回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 面接
<b>オフィスアワー② (12 月、日時、場所、参加条件等)</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月15日 12:10~13:10 第 7 学舎 405、参加条件無し</li> </ul>		
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b>	可	<b>授業休止期間 :</b> 無

平成 29 年度研究指導募集 教員別ゼミ案内

<b>申請コード : 17</b>	<b>教員名 :</b> <small>たけうち けんじ</small> 竹内 憲司 教授 (技術・環境分析講座)	
<b>研究室 :</b> 兼松記念館 102	<b>メールアドレス :</b> takeuchi@econ.kobe-u.ac.jp	
<b>学生に対する希望・条件 :</b> 環境経済学に関心のある人。		
<b>研究指導の内容 :</b> ・ 3 年次は、英語文献の輪読や計量経済学の分析手法習得を中心におこないます。年 4 回のテストを実施します。 ・ 4 年次は、各自が卒業論文に取り組み、ゼミで報告し、内容について議論します。 ※留学生が参加する場合、ゼミは英語でおこなう可能性があります。		
<b>オフィスアワー① (10~11 月、日時、場所、参加条件等)</b> ・ 10 月 3 日 (月) 9:00~17:00 研究室 ・ 11 月 2 日 (水) 9:00~17:00 研究室 ・ 11 月 24 日 (木) 9:00~17:00 研究室		
<b>募集時の参加証提出 :</b> 要	<b>1 回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 書類選考	
<b>オフィスアワー② (12 月、日時、場所、参加条件等)</b> ・ 12 月 14 日 (水) 9:00~17:00 研究室		
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b> 不可	<b>授業休止期間 :</b> 無	

<b>申請コード : 18</b>	<b>教員名 :</b> <small>はぎわら たいじ</small> 萩原 泰治 教授 (技術・環境分析講座)	
<b>研究室 :</b> 兼松記念館 212	<b>メールアドレス :</b> hagiwara@econ.kobe-u.ac.jp	
<b>学生に対する希望・条件 :</b> ・ 技術革新や産業に関心のある人		
<b>研究指導の内容 :</b> ・ 3 回生 : 日本とヨーロッパの技術革新・産業に関する文献を輪読し、実証分析をします。 ・ 4 回生 : 卒業論文の作成		
<b>オフィスアワー① (10~11 月、日時、場所、参加条件等)</b> ・ 10 月 31 日 (月) 12:20~13:10 研究室 ・ 11 月 15 日 (火) 12:20~13:10 研究室 上記日程に参加できない学生は、メールでのアポイントの上相談に応じます。		
<b>募集時の参加証提出 :</b> 不要	<b>1 回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 書類選考	
<b>オフィスアワー② (12 月、日時、場所、参加条件等)</b> ・ 12 月 19 日 (月) 12:20~13:10 研究室 ・ 12 月 20 日 (火) 12:20~13:10 研究室		
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b> 可	<b>授業休止期間 :</b> 無	

平成 29 年度研究指導募集 教員別ゼミ案内

<b>申請コード : 19</b>	<b>教員名 :</b> <small>なかむら けんた</small> 中村 健太 准教授 (技術・環境分析講座) 昨年度開講なし	
<b>研究室 :</b> 第 2 研究室 307	<b>メールアドレス :</b> knakamura @econ.kobe-u.ac.jp	
<b>学生に対する希望・条件 :</b> 企業の戦略や組織、産業の構造、イノベーションや知的財産権に関心がある学生を希望します。前提知識は必要ありませんが、二年間積極的にゼミ活動に参加することを求めます。		
<b>研究指導の内容 :</b> ・ 3 年次 : 企業経済学や産業組織論に関する文献を読み、理論的基盤と研究方法について学びます。また、グループ研究を通じて実証分析の感覚を養っていきます。年明けには、企業や産業に関連する問題から卒業論文のテーマを選び論文執筆の準備を始めます。卒論は、原則として、実証的なもの(データを使ったもの)とします。 ・ 4 年次 : 卒業論文に対する指導が中心になります。各自が関連論文を読み、データを収集し、計量分析を行うことで、オリジナルの成果を含む卒業論文の完成を目指します。		
<b>オフィスアワー① (10~11 月、日時、場所、参加条件等)</b> 在外研究中のためオフィスアワーはありません。質問、要望、アピールなどはメールにてお願いします。		
<b>募集時の参加証提出 :</b> 不要	<b>1 回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 書類選考	
<b>オフィスアワー② (12 月、日時、場所、参加条件等)</b> 在外研究中のためオフィスアワーはありません。質問、要望、アピールなどはメールにてお願いします。		
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b> 可	<b>授業休止期間 :</b> 無	

<b>申請コード : 20</b>	<b>教員名 :</b> <small>きぬがさ ともこ</small> 衣笠 智子 教授 (産業・社会政策講座)	
<b>研究室 :</b> 第 2 研究室 314	<b>メールアドレス :</b> kinugasa@econ.kobe-u.ac.jp	
<b>学生に対する希望・条件 :</b> ①か②のいずれかに当てはまる人。 ①教員の研究分野(農業、食料、人口、経済発展など)のいずれかに少しでも興味がある人。(私の講義を履修したかどうかは、問いません。) ②①には当てはまらないが、衣笠ゼミに入りたい、という理由を主張できる人。(ゼミ申請書に書いて下さい。) オフィスアワーの参加証は要求しませんが、オフィスアワーでお話ししたことを了承されたという前提でゼミ運営を行います。		
<b>研究指導の内容 :</b> ・ゼミでは、少人数教育のメリットを生かし、それぞれの個性を尊重し、大人数の講義では学ぶことのできない教育をして、社会を見る目を養い、就職で重要なコミュニケーション能力・文章力・プレゼンテーション能力等を身に付けることを目指します。主に 3 年生の間に、経済問題についてプレゼンテーション・ディスカッション、生産現場や社会貢献団体の見学、実務家との交流、社会貢献活動への参加を考えています。 ・3 年生の後期から 4 年生のゼミの全期間を通じて、卒論指導を行い、卒論で取り組んでいる内容を就職活動で主張できるよう指導します。卒論のテーマは、経済学に関係していれば自由です。 ・企業に就職する人が多いので、就職活動のことを強調しましたが、もちろん、大学院進学希望者には、大学院に進学できるようサポートをしますし、留学(私は留学経験もあります)、公務員・資格試験受験、その他、それぞれの学び方や進路希望に合わせた指導を相談の上行います。		
<b>オフィスアワー① (10~11 月、日時、場所、参加条件等)</b> ・ 10 月 6 日 (木) 12:30~13:00・10 月 20 日 (木) 12:30~13:00・11 月 16 日 (水) 12:30~13:00 いずれも研究室 上記日程に参加できない学生は、メールでの問い合わせに対応します。		
<b>募集時の参加証提出 :</b> 不要	<b>1 回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 書類選考	
<b>オフィスアワー② (12 月、日時、場所、参加条件等)</b> ・ 12 月 15 日 (木) 12:30~13:00、研究室		
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b> 可	<b>授業休止期間 :</b> 無	

平成 29 年度研究指導募集 教員別ゼミ案内

<b>申請コード : 21</b>	<b>教員名 :</b> <small>なごう たかゆき</small> 永合 位行 教授 (産業・社会政策講座)		
<b>研究室 :</b> 第 5 学舎 621	<b>メールアドレス :</b> tango@econ.kobe-u.ac.jp		
<b>学生に対する希望・条件 :</b> 現実の経済社会問題についてとにかく語りたいたいという学生、ゼミ活動に積極的な参加意欲のある学生、三商大ゼミに積極的に参加できる学生を希望します。			
<b>研究指導の内容 :</b> ・ 3 年次は、ディベート、ディスカッション、研究報告等をしながら、コミュニケーション能力を高めることを目的にゼミ運営を行い、三商大ゼミに参加します。 ・ 4 年次は、各自の選択したテーマに関する卒論指導を行います。			
<b>オフィスアワー① (10~11 月、日時、場所、参加条件等)</b> ・ 10 月 13 日 (木) 12:30~13:00 研究室 ・ 10 月 27 日 (木) 12:30~13:00 研究室 ・ 11 月 10 日 (木) 12:30~13:00 研究室			
<b>募集時の参加証提出 :</b> 不要	<b>1 回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 書類選考		
<b>オフィスアワー② (12 月、日時、場所、参加条件等)</b> ・ 12 月 15 日 (木) 12:30~13:00 研究室			
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b> 不可	<b>授業休止期間 :</b> 無		

<b>申請コード : 22</b>	<b>教員名 :</b> <small>やながわ たかし</small> 柳川 隆 教授 (産業・社会政策講座)		
<b>研究室 :</b> 兼松記念館 318	<b>メールアドレス :</b> yanagawa@econ.kobe-u.ac.jp		
<b>学生に対する希望・条件 :</b> ゼミ活動を熱心に行う学生を希望します。無断欠席は厳禁です。法経連携専門教育プログラム生である必要はないですが、経済学と法学の両方に関心を有する学生を希望します。ただし、法経連携プログラム生で労働や社会保障や知財に関心を有する場合にはそれにふさわしいゼミを選んでください。			
<b>研究指導の内容 :</b> ・ 3 年生は、ネットワーク産業の制度改革、特に電力・ガス事業や水道事業のネットワークの整備・維持・管理制度および料金の改革をとりあげ、法と経済学の視点で研究を行います。3 年生の前期には、テキストや参考文献を輪読します。3 年生の後期には、こうしたテーマについてグループ研究を行い、三商ゼミに参加します。 ・ 4 年生は、電力・ガス・水道事業、法と経済学、産業組織論などに関するテーマを選び、卒業論文を作成します。			
<b>オフィスアワー① (10~11 月、日時、場所、参加条件等)</b> ・ 11 月 9 日 (水) 11:00 研究室 ・ 11 月 11 日 (金) 12:30 研究室 ・ 11 月 15 日 (火) 14:00 研究室			
<b>募集時の参加証提出 :</b> 要	<b>1 回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 書類選考		
<b>オフィスアワー② (12 月、日時、場所、参加条件等)</b> ・ 12 月 14 日 (水) 11:00 研究室			
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b> 可	<b>授業休止期間 :</b> 無		



平成 29 年度研究指導募集 教員別ゼミ案内

<b>申請コード : 23</b>	<b>教員名 :</b> <small>みずの</small> 水野 <small>ともみち</small> 倫理 准教授 (産業・社会政策講座)		
<b>研究室 :</b> 第 3 学舎 412	<b>メールアドレス :</b> mizuno@econ.kobe-u.ac.jp		
<b>学生に対する希望・条件 :</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の行動に関心があることを条件とします。</li> <li>・パソコンを使うことに抵抗がないことも条件とします。</li> <li>・ミクロ経済学を好きな人が望ましいです。</li> </ul>			
<b>研究指導の内容 :</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生の前期は、Maxima (代数計算ソフト) と R (統計解析ソフト) の使い方を学びます。</li> <li>・3年生の後期は、企業行動に関連する論文を読みます。</li> <li>・4年生になると、企業行動に関連するテーマを選び、卒業論文を書きます。</li> </ul>			
<b>オフィスアワー① (10~11 月、日時、場所、参加条件等)</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月5日(水) 17:00 ~18:00 研究室</li> <li>・10月6日(木) 12:20 ~13:10 研究室</li> <li>・10月13日(木) 17:00~ 18:00 研究室</li> </ul>			
<b>募集時の参加証提出 :</b> 不要		<b>1 回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 書類選考	
<b>オフィスアワー② (12 月、日時、場所、参加条件等)</b>			
・12月15日(木) 17:00 ~18:00, 研究室			
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b> 可		<b>授業休止期間 :</b> 無	

<b>申請コード : 24</b>	<b>教員名 :</b> <small>ゆうがみ</small> 勇上 <small>かずふみ</small> 和史 准教授 (産業・社会政策講座)		
<b>研究室 :</b> 第 2 学舎 301	<b>メールアドレス :</b> yugami@econ.kobe-u.ac.jp		
<b>学生に対する希望・条件 :</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働に関する個人や企業の行動, その政策的対応に興味がある人を歓迎します。</li> <li>・対抗ゼミや合宿などのゼミ活動に積極的に参加できる人を希望します。</li> <li>・ゼミも社会です。様々な個性を持った学生の応募をお待ちしています。</li> </ul>			
<b>研究指導の内容 :</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年次の前半は、エクセルや計量ソフトを用いた実証分析の演習と、複数の班に分かれた共同研究を実施します。後半は、関西圏の大学との複数の合同ゼミに参加し、論文作成と討論の方法を実践的に習得します。</li> <li>・この他、学生の選択により、これまでに WEST や三商大ゼミ、ISFJ といった共同論文大会にも参加し、若者・女性・高齢者・外国人・非正規労働者・地域雇用などを対象とする雇用・教育施策について、実証分析と政策提言を行いました。</li> <li>・対抗ゼミ終了後は各自が関心を抱いたテーマについて文献サーベイを進め、4年次に卒業論文を作成します。</li> </ul>			
<b>オフィスアワー① (10~11 月、日時、場所、参加条件等)</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月11日(火) 12:15~13:15 研究室</li> <li>・10月31日(月) 17:00~18:00 研究室</li> <li>・11月17日(木) 12:15~13:15 研究室 ※終了後ゼミを行います。自由に見学してください。</li> </ul>			
<b>募集時の参加証提出 :</b> 要		<b>1 回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 面接	
<b>オフィスアワー② (12 月、日時、場所、参加条件等)</b>			
・12月15日(木) 12:15~13:15 研究室			
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b> 可		<b>授業休止期間 :</b> 無	

平成 29 年度研究指導募集 教員別ゼミ案内

<b>申請コード : 25</b>	<b>教員名 :</b> <small>たまたに よしかつ</small> <b>暁谷 整克 教授 (金融・公共政策講座)</b>	
<b>研究室 :</b> 第 4 学舎 506	<b>メールアドレス :</b> tatamitani@econ.kobe-u.ac.jp	
<b>学生に対する希望・条件 :</b> 公共経済学や、ミクロ経済学・ゲーム理論の応用分野である「メカニズムデザイン」・「マーケットデザイン」について、『積極的に』学んでみたいと考えている人を望みます。公共経済学や「メカニズムデザイン」, 「マーケットデザイン」では、市場メカニズムが上手く機能しない場合に、実行すべき政策について吟味したり、市場メカニズムに代わる資源配分の仕組みを考えたりします。「メカニズムデザイン」や「マーケットデザイン」については、内容を説明する必要がありますと思いますが、ここで詳細を説明するわけにはいきませんので、 <a href="http://www2.kobe-u.ac.jp/~tatami/">http://www2.kobe-u.ac.jp/~tatami/</a> に貼付けてある私が以前に『経済学・経営学学習のために』の原稿として書いた「制度設計という考え方：経済学研究科の制度を例として」や、坂井豊貴 (2013)『マーケットデザイン』ちくま新書 にざっと目を通してみてください。		
<b>研究指導の内容 :</b> ・ 1 年目は、ミクロ経済学やゲーム理論に関する基本概念を確認した後、上述の分野に関する基本的な教科書等を選び、その内容の報告とそれに基づいた議論を行います。例年、3 年生のゼミは 12 : 50 ~ 14 : 50 で行っています。 ・ 2 年目は、各自が選択したテーマに基づき卒業研究を行います。		
<b>オフィスアワー① (10~11 月、日時、場所、参加条件等)</b> ・ 10 月 14 日 (金)・10 月 27 日 (木)・11 月 10 日 (木)・11 月 18 日 (金) いずれも、12 : 15~13 : 15 および 16 : 45~17 : 45 研究室 これらの時間以外を希望の場合は、メールでアポをとってください。		
<b>募集時の参加証提出 :</b>	要 (2 回目も)	<b>1 回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 書類選考
<b>オフィスアワー② (12 月、日時、場所、参加条件等)</b> ・ 12 月 15 日 (木)・12 月 16 日 (金) いずれも、16 : 45~17 : 45 研究室 これらの時間以外を希望の場合は、メールでアポをとってください。		
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b>	可	<b>授業休止期間 :</b> 無

<b>申請コード : 26</b>	<b>教員名 :</b> <small>たまおか まさゆき</small> <b>玉岡 雅之 教授 (金融・公共政策講座)</b>	
<b>研究室 :</b> 第 3 学舎 401	<b>メールアドレス :</b> <a href="http://pf.econ.kobe-u.ac.jp/mail/form.cgi">http://pf.econ.kobe-u.ac.jp/mail/form.cgi</a>	
<b>学生に対する希望・条件 :</b> ・ なんでも意欲的に取り組む人 ・ 当たり前のことを当たり前だと思わない人 ・ 3 商大ゼミナールに意欲的に参加する人 ・ ゼミの行事に積極的に参加する人 ・ 財政問題に興味がある人 のどれか 1 つに当てはまる方の応募を希望します。		
<b>研究指導の内容 :</b> ・ 3 年生では基本的な財政学関連の本を講読します。 ・ 4 年生では卒論作成を中心に指導を行います。		
<b>オフィスアワー① (10~11 月、日時、場所、参加条件等)</b> ・ 11 月 10 日 (木) 12:30~13:00    ・ 11 月 17 日 (木) 12:30~13:00    ・ 11 月 24 日 (木) 12:30~13:00 いずれも第 1 学舎 224		
<b>募集時の参加証提出 :</b>	任意	<b>1 回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 書類選考
<b>オフィスアワー② (12 月、日時、場所、参加条件等)</b> ・ 12 月 15 日 (木) 12:30~13:00 第 1 学舎 224		
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b>	可	<b>授業休止期間 :</b> 無

平成 29 年度研究指導募集 教員別ゼミ案内

<b>申請コード : 27</b>	<b>教員名 :</b> <sup>ふじた</sup> 藤田 <sup>せいいち</sup> 誠一 教授 (金融・公共政策講座)	
<b>研究室 :</b> 兼松記念館 114	<b>メールアドレス :</b> fujita@econ.kobe-u.ac.jp	
<b>学生に対する希望・条件 :</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学問だけでなく何事に関しても好奇心旺盛で、チャレンジ精神豊かな人</li> <li>・ ゼミナールの活動 (研究、対抗ゼミ、コンパ、旅行等) について積極的に参加する人</li> <li>・ 国際金融問題に興味を持っている人</li> <li>・ 恥ずかしがらずに自分の意見を言ったり、議論するのが好きな人</li> </ul>		
<b>研究指導の内容 :</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際金融に関する基本的なテキストの輪読と特定のテーマについての共同研究</li> <li>・ その時々時事問題についての英文雑誌・新聞の記事も随時取上げる予定</li> <li>・ 一橋大学、九州大学・金沢大学、明治大学との対抗ゼミを予定している</li> </ul>		
<b>オフィスアワー① (10~11 月、日時、場所、参加条件等)</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11 月 2 日 (水) 12 : 30~13 : 00</li> <li>・ 11 月 8 日 (月) 12 : 30~13 : 00</li> <li>どちらも第 1 学舎 324</li> </ul>		
<b>第募集時の参加証提出 :</b> 不要	<b>1 回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 面接	
<b>オフィスアワー② (12 月、日時、場所、参加条件等)</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12 月 14 日 (水) 12 : 30~13 : 00</li> <li>第 1 学舎 324</li> </ul>		
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b> 不可	<b>授業休止期間 :</b> 無	

<b>申請コード : 28</b>	<b>教員名 :</b> <sup>いしぐろ</sup> 石黒 <sup>かおる</sup> 馨 教授 (金融・公共政策講座)	
<b>研究室 :</b> 第 5 学舎 508	<b>メールアドレス :</b> ishiguro@econ.kobe-u.ac.jp	
<b>学生に対する希望・条件 :</b>		
国際経済の諸問題 (特に、発展途上国に対する日本の開発支援) について勉強します。元気な学生と楽しくゼミ活動をしたいと思います。		
<b>研究指導の内容 :</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ “学生政策フォーラム (ISFJ や WEST) ” に参加します。そのために、独創的な政策提言を考えます。</li> <li>・ 日本の ODA や NGO による発展途上国に対する支援について研究します。</li> <li>・ 個人研究 (卒論) とグループ研究 (ISFJ) を行います。ゼミの運営はすべて学生が責任をもって行います。レポート・プレゼン・討論など、自己表現能力の向上を重視した指導を行います。</li> <li>・ コンパ・ゼミ旅行・対抗ゼミなどを積極的行います。ゼミ活動の様子はゼミの HP を見てください。 <a href="http://ishigurozemi2012.jimdo.com/">http://ishigurozemi2012.jimdo.com/</a></li> </ul>		
<b>オフィスアワー① (10~11 月、日時、場所、参加条件等)</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11 月 24 日 (木)、15:10~15:40 研究室</li> <li>上記以外については、メールで問い合わせてください。</li> </ul>		
<b>募集時の参加証提出 :</b> 要	<b>1 回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 書類選考	
<b>オフィスアワー② (12 月、日時、場所、参加条件等)</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12 月 15 日 (木)、15:10~15:40 研究室</li> <li>上記以外については、メールで問い合わせてください。</li> </ul>		
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b> 不可	<b>授業休止期間 :</b> 無	

平成 29 年度研究指導募集 教員別ゼミ案内

<b>申請コード</b> : 29	<b>教員名</b> : <sup>こ</sup> 胡 <sup>うんほう</sup> 云芳 教授 (金融・公共政策講座)	
<b>研究室</b> : 第 3 学舎 405	<b>メールアドレス</b> : yhu@econ.kobe-u.ac.jp	
<b>学生に対する希望・条件</b> :		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際貿易や経済成長に関する諸問題に関心を持つ、</li> <li>・ 経済理論を用いて (1) での問題を分析したい、</li> </ul> という人を希望します。		
<b>研究指導の内容</b> :		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3 年次 : 経済学の基礎的理論分析方法を学び、文献の輪読・報告を中心に行います。</li> <li>・ 4 年次 : 卒業論文の準備・作成を中心に行います。各自興味のあるテーマを決め、ゼミで報告議論を行います。</li> </ul>		
<b>オフィスアワー① (10~11 月、日時、場所、参加条件等)</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11 月 16 日 (水) 12 : 20~13 : 20 研究室</li> <li>・ 11 月 15 日 (火) 12 : 20~13 : 20 研究室</li> <li>・ 11 月 14 日 (月) 12 : 20~13 : 20 研究室</li> </ul>		
<b>募集時の参加証提出</b> :	要	<b>1 回目で定員を超えた場合の選考方法</b> : 書類選考
<b>オフィスアワー② (12 月、日時、場所、参加条件等)</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12 月 8 日 (木) 12 : 20~13 : 20 ・ 12 月 9 日 (金) 12 : 20~13 : 20 どちらも研究室</li> </ul>		
<b>法経連携研究指導受け入れ</b> :	不可	<b>授業休止期間</b> : 有 (H29 年度 Q3)

<b>申請コード</b> : 30	<b>教員名</b> : <sup>なかにし</sup> 中西 <sup>のりつぐ</sup> 訓嗣 教授 (金融・公共政策講座)	
<b>研究室</b> : 第 4 学舎 502	<b>メールアドレス</b> : nakanishi @econ.kobe-u.ac.jp	
<b>学生に対する希望・条件</b> :		
次のような人の参加を希望します : (1) 貿易と日本の農林水産業・労働、企業活動の国際展開、FTA/EPA/TPP など、グローバルゼーションに関わる諸問題に関心のある人、(2) 一般均衡理論やゲームの理論といった経済学の理論的枠組みを探求してみたい人、(3) 自ら設定した課題に積極的に取り組む意欲のある人。		
<b>研究指導の内容</b> :		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3 年次 : テキスト講読を通じて、国際貿易理論とゲーム理論とを徹底的に学びます。また、三商大ゼミ、京阪神研究報告会に向けて、共同論文の執筆に取り組むとともに、研究発表・プレゼンテーションの方法について学びます。</li> <li>・ 4 年次 : 各自が選択したテーマに沿って、卒業論文を執筆します。</li> </ul> ※ゼミ運営方針の詳細については以下の私の HP を参照してください。 <a href="http://www2.kobe-u.ac.jp/~nakanishi/seminar-u.html">http://www2.kobe-u.ac.jp/~nakanishi/seminar-u.html</a>		
<b>オフィスアワー① (10~11 月、日時、場所、参加条件等)</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10 月~11 月の月曜日 12:15~13:15 木曜日 17:00~18:00</li> <li>・ 必ず前日までに電子メールで予約してください (学籍番号・氏名を明記のこと)。折り返し面談時間確認のメールを返信します。</li> </ul>		
<b>募集時の参加証提出</b> :	要	<b>1 回目で定員を超えた場合の選考方法</b> : 面接
<b>オフィスアワー② (12 月、日時、場所、参加条件等)</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12 月 15 日 (木) 17:00~18:00 ・ 12 月 19 日 (月) 12:15~13:15</li> <li>・ 必ず前日までに電子メールで予約してください (学籍番号・氏名を明記のこと)。折り返し面談時間確認のメールを返信します。</li> </ul>		
<b>法経連携研究指導受け入れ</b> :	可	<b>授業休止期間</b> : 無

平成 29 年度研究指導募集 教員別ゼミ案内

<b>申請コード : 31</b>	<b>教員名 :</b> <small>かじたに かい</small> 梶谷 懐 教授 (比較経済政策講座)	
<b>研究室 :</b> 兼松記念館 215	<b>メールアドレス :</b> kajitani@econ.kobe-u.ac.jp	
<b>学生に対する希望・条件 :</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習・研究意欲があり、ゼミ活動に積極的に参加できること。</li> <li>・ 中国やインドなどアジアの新興国経済の諸問題を経済学の知識をベースに分析することに関心があること。</li> </ul>		
<b>研究指導の内容 :</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年目は、中国経済・アジア経済・開発経済などについての平易な内容の書籍の輪読を中心にゼミを行う。</li> <li>・ 2年目は各自が選んだテーマに従って、卒業論文作成のための報告と討論を中心に行う。</li> <li>・ 九州大学堀井ゼミとの対抗ゼミを12月に行います。</li> </ul>		
<b>オフィスアワー① (10~11月、日時、場所、参加条件等)</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10月26日(水) 16:00~17:00 研究室</li> <li>・ 10月28日(金) 16:00~17:00 研究室</li> <li>・ 11月1日(火) 12:20~13:00 研究室</li> </ul>		
<b>募集時の参加証提出 :</b> 不要	<b>1回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 書類選考	
<b>オフィスアワー② (12月、日時、場所、参加条件等)</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12月7日(水) 13:00~14:00 研究室</li> </ul>		
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b> 可	<b>授業休止期間 :</b> 無	

<b>申請コード : 32</b>	<b>教員名 :</b> <small>きんきょう たくじ</small> 金京 拓司 教授 (比較経済政策講座)	
<b>研究室 :</b> 兼松記念館 325	<b>メールアドレス :</b> kinkyo@econ.kobe-u.ac.jp	
<b>学生に対する希望・条件 :</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 金融や経済学の知識を用いて、日本経済やそれを取り巻く国際情勢について深く学びたい人。</li> <li>・ 「よく学びよく遊ぶ」をモットーとしている人</li> <li>・ 共同研究の一環で企業等を訪問し、聞き取り調査を積極的に行ってみたい人。</li> </ul>		
<b>研究指導の内容 :</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年目は、前期に金融・経済に関する基本書の輪読を行います。後期はグループに分かれて共同研究を行い、日経STOCKリーグに参加します。</li> <li>・ 2年目は、各自が選択したテーマに沿って卒業論文を作成します。</li> </ul>		
<b>オフィスアワー① (10~11月、日時、場所、参加条件等)</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10月24日(月) 第3限 演習を行っている教室 (参加条件なし)</li> <li>・ 11月7日(月) 第3限 演習を行っている教室 (参加条件なし)</li> <li>・ 11月21日(月) 第3限 演習を行っている教室 (参加条件なし)</li> </ul>		
<b>募集時の参加証提出 :</b> 要	<b>1回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 面接	
<b>オフィスアワー② (12月、日時、場所、参加条件等)</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12月19日(月) 第3限 演習を行っている教室 (参加条件なし)</li> </ul>		
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b> 不可	<b>授業休止期間 :</b> 無	

平成 29 年度研究指導募集 教員別ゼミ案内

<b>申請コード : 33</b>	<b>教員名 :</b> <small>ちぬし としき</small> 地主 敏樹 教授 (比較経済政策講座)	
<b>研究室 :</b> 兼松記念館 208	<b>メールアドレス :</b> jinushi@econ.kobe-u.ac.jp	
<b>学生に対する希望・条件 :</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカ経済・金融・マクロ経済学に関心を持っていること。</li> <li>・対抗ゼミなどに、積極的に参加する意思のあること。</li> <li>・社会・経済の出来事や制度のデザインに広い関心があること。</li> </ul>		
<b>研究指導の内容 :</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3 回生 : エクセルでファイナンスのイントロを指導した後、グループをつかってアメリカ経済や金融に関するテーマで、研究してもらいます。そのテーマで、対抗ゼミにも参加してもらいます。</li> <li>・4 回生 : 卒業論文には、データを用いた仮説検証を必須とします。</li> <li>・3 回生と 4 回生とが、できるだけ同時にゼミに参加するようにして、交流を図りたいと考えています。</li> </ul>		
<b>オフィスアワー① (10~11 月、日時、場所、参加条件等)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10 月 17 日 (月) 12 : 10~13 : 00 第 1 学舎 224</li> <li>・11 月 7 日 (月) 12 : 10~13 : 00 第 1 学舎 224</li> </ul>		
<b>募集時の参加証提出 :</b> 要	<b>1 回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 書類選考	
<b>オフィスアワー② (12 月、日時、場所、参加条件等)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12 月 19 日 (月) 12:10~13 : 10 研究科長室</li> </ul>		
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b> 可	<b>授業休止期間 :</b> H30 年度 Q2 を予定	

<b>申請コード : 34</b>	<b>教員名 :</b> <small>よしい まさひこ</small> 吉井 昌彦 教授 (比較経済政策講座)	
<b>研究室 :</b> 第 7 学舎 811	<b>メールアドレス :</b> yoshii@econ.kobe-u.ac.jp	
<b>学生に対する希望・条件 :</b> <p>第 1 に、旧社会主義国 (ロシアや中東欧諸国) の市場経済移行、そして EU に関心を持っている学生を歓迎します。しかし、ロシア、中東欧諸国の経済に関心を持つ学生が大勢いるとは思いませんので、皆さんが習った基礎的なミクロ・マクロの知識を基礎として日本や世界の国々で起きている様々な出来事を積極的、意欲的に理解したいと考えている学生も歓迎します。</p> <p>その他、詳しくは私のホームページ (<a href="http://www.econ.kobe-u.ac.jp/~yoshii/">http://www.econ.kobe-u.ac.jp/~yoshii/</a>) をご覧ください。</p>		
<b>研究指導の内容 :</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3 回生 : ミクロ・マクロ経済学の勉強を随時取り入れながら、日本・世界経済の現況を俯瞰できるテキスト等を読みたいと思います。対抗ゼミについては、京都大学溝端ゼミ、大阪大学藤原ゼミとの 3 大学対抗ゼミ、そして釜山国立大学、国立台湾大学の EU Center 所属学生との対抗ゼミ (英語) を行っています。1 年に 1、2 度は工場見学等学外での活動を行います (今年はサントリービール・ウィスキー工場見学でした)。</li> <li>・4 回生 : 卒論の作成を行います。</li> </ul>		
<b>オフィスアワー① (10~11 月、日時、場所、参加条件等)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10 月 17 日 (月) 12:30~13:00 研究室</li> <li>・10 月 20 日 (木) 12:30~13:00 研究室</li> <li>・11 月 4 日 (金) 12:30~13:00 研究室</li> </ul>		
<b>募集時の参加証提出 :</b> 不要	<b>1 回目で定員を超えた場合の選考方法 :</b> 書類選考	
<b>オフィスアワー② (12 月、日時、場所、参加条件等)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12 月 14 日 (火) 12:30~13:00 研究室</li> <li>・12 月 15 日 (木) 12:30~13:00 研究室</li> </ul>		
<b>法経連携研究指導受け入れ :</b> 可	<b>授業休止期間 :</b> 無	

# 大学院・学部共通授業科目の開講について

大学院・学部共通授業科目は大学院学生（主として修士課程学生）と学部学生がともに同じクラスで学習する科目です。それらの特徴と具体的な開講計画は以下のとおりです。

## 1. 講義数、単位数

経済学部は8大分野から構成されています。大学院・学部共通授業科目（以下、共通授業科目と略称）は、原則として、この8大分野のそれぞれから1科目ずつ提供されます。

平成28年度は、「上級ミクロ経済学ⅠA」「上級ミクロ経済学ⅠB」「上級環境経済論」「上級産業組織論」「上級国際貿易論」「上級経済数学」「上級前・近代日本経済史」「上級ファイナンス」「上級欧州統合史」「上級マクロ経済学ⅠA」「上級マクロ経済学ⅠB」「上級企業金融論」「上級中国経済論」「上級統計推理論」「上級計量経済学」「上級労働経済学」「上級マイクロデータ分析」「上級空間経済学」「上級ロシア・東欧経済論」「上級マイクロデータ分析演習」の20科目を開講しています。

## 2. 授業の水準

共通授業科目は、大学院生と学部学生がともに同じクラスで受講する科目ですから、学部で行われている一般の講義に比べてやや水準の高い授業内容になっています。だからといって、学部学生に全く理解できない難解な専門授業を行うわけではありません。担当教員も学部学生の受講を前提に授業内容・水準をデザインすることになっています。学部1、2年生で基礎的な経済学の学習を終えた後、さらに学習を進め、知識を深めたいという希望を抱いている学生諸君には積極的に受講することをお勧めします。

## 3. 履修のための条件

下記(1)、(2)のいずれかを満たしていること。

(1)アドバンス・プログラムに所属していること。

(2)経済原論Ⅰ、経済原論Ⅱ、経済史、統計学を修得済みであること。

## 4. 修得単位について

共通授業科目で修得した単位は、専門科目Ⅲ群に入ります。

その他不明な点がございましたら、経済学研究科 学部・大学院教務係に問い合わせてください。

経済学のいろいろな分野について、もう少し深く勉強してみたいという意欲を持つ諸君、または将来大学院進学やシンクタンク等への就職を考えている諸君にお勧めです。

# アドバンスト・プログラムについて

平成27年度以降も、経済学部カリキュラムであるアドバンスト・コースを発展的に見直し、平成25年度よりアドバンスト・プログラムとして実施しています。その目的、実施形態は以下のとおりです。

## 1. 目的

本学部の学生諸君で、より高度な経済学の学習を期待する人に設けられた特別学習コースです。特に将来大学院に進学して研究を深めたいと考えている学生諸君、大学院進学は考えていないがハイレベルな学習をしたいと望んでいる学生諸君に向けて開設されたコースです。

ただし、このコースに参加したからといって、大学院進学が義務づけられることも保証されることもありません。

## 2. 参加時期と定員

原則として3年生前期から4年生後期末まで続く2年間コースです。ただし、2年生、4年生で特に希望する者に対しては、本プログラムへの参加を認めることがあります。

定員は10人程度です。10人を大幅に超えた場合には、既修得科目の成績ないし面接で選抜します。なお、このプログラムは通常の「研究指導」に代替するものではありません。

## 3. 修了要件

①大学院・学部共通授業科目 12単位

②特別演習 6単位(2単位×3科目)

なお、特別演習4科目全てを修得した者については、2単位に限り大学院・学部共通科目に読み替える。  
・「特別演習」とは、アドバンスト・プログラムのために特別に設けられた少人数ゼミナール形式の授業科目です。様々な分野・トピックスに関する中級ないし上級の経済学学習を学びます。

①、②の修得単位数は、専門科目Ⅲ群の単位として取り扱います。

## 4. アドバンスト・プログラム修了者への修了証書の授与

上記3の要件を満たした者には、学部長名で修了証書が授与されます。

親密な雰囲気の中で、より高度な学習を期待する諸君、あるいは大学院進学やシンクタンク等への就職を志している諸君にお勧めです。



# 平成29年度 研究指導 申請書

\*「研究指導 志望動機書」と併せて提出

顔写真貼付 縦4cm x 横3cm *必ず写真を貼ること	学籍番号			
	ふりがな			
	氏 名			
	生年月日	昭和 平成	年	月 日 生 (満 才)
現住所	〒 _____ Tel _____			
帰省先	〒 _____ Tel _____			
出身高校				
連絡方法 明瞭に記入すること	携帯電話			
	携帯メール			
	PCメール			
所属プログラム (該当するものに○印)	I F E E K 法経連携専門教育 ESDコース 社会科学総合教育 EU研究修了証 EUエキスパート			
将来の希望 (該当するものに○印)	一般就職	公務員	資格試験受験	アドバンス・プログラム への興味
	大学院進学	その他 ( )		
自己アピール (自由に記述してください。)				海外留学 への興味
				有 無

\* 上記の個人情報は、ゼミ募集・ゼミ運営・卒業後の連絡等に利用させていただき、法令及び「神戸大学の保有する個人情報の管理に関する方針」に基づき適正かつ安全に管理いたします。

## 平成29年度 研究指導 志望動機書

(「研究指導申請書」と併せて提出)

申請コード( ) 志望する教員名( )

- ・志望動機(上記教員の研究指導を志望する理由を具体的に書いてください。)
- ・過年度生(応募時点で3年生以上の学生)で研究指導に応募する場合は、志望理由に加えて、応募が遅れた理由・事情(留学・休学等)をできるだけ詳しく記述してください。  
(注意)理由によっては、1回目の募集で定員に満たない場合でも受け入れを拒否されることがあります。

..... 切り取り(教務係) .....

学籍番号		氏名	
------	--	----	--

申請コード( ) 志望する教員名( )

受入教員  
署名(押印)

平成29年度研究指導募集  
オフィスアワー参加証  
(教員用)

- ①参加日・学籍番号・氏名の記入を確認する。
- ②教員用・学生用の両方に署名または割印し
- ③左右を切り離し、右半分(学生用)を本人に渡す。

参加日 月 日

学籍番号

氏名

教員署名

平成29年度研究指導募集  
オフィスアワー参加証  
(学生用)

- ①左右両方に参加日・学籍番号・氏名を記入する。
- ②終了後、先生に署名(2カ所)または割印をもらう。
- ③左右を切り離し、学生用を受け取る。
- ④申請時に、申請用紙・志望動機書に添えて提出する。

参加日 月 日

学籍番号

氏名

教員署名